

自主防犯ボランティア ～犯罪を起こさせない「地域目」～

1 自主防犯ボランティア

今、安全で、安心して暮らせる地域社会の実現が強く求められています。

これを実現させるためには、地域住民による防犯の輪を広げることがとても重要です。

防犯ボランティアに期待されるのは、犯罪者を捕まえることではなく、地域の連帯感を持って、犯罪の機会を与えないことです。

2 自主防犯ボランティア団体

御坊市では、平成14年に御坊市内初の自主防犯組織(北塩屋区自主防犯パトロール隊)が発足し、現在8団体が活動を行っています。

3 自主防犯ボランティア活動

活動を行う上での基本的な考え方は、

日常生活の中で、できる人が、できるときに、できることを無理なく行う

です。無理な活動は長続きしません。

また、自治会等で自主防犯組織を立ち上げると活動の幅が広がります。

4 活動事例

○登下校時の子ども見守り活動

交差点や自宅前に立って、登下校する子どもたちを見守る活動です。

御坊市では、年2回、市内一斉の見守り活動(御坊市地域子ども見守りネットワーク統一行動日)を実施しています。

○防犯パトロール

夜間の集団パトロールの他に、ながらパトロールなどがあります。



「散歩しながら、買い物しながら」行うパトロールです。

(自転車の前かごに「パトロール実施中」と書かれたカードを付けるだけでも効果があります。)

5 最後に

犯罪者が最も嫌がるのは、「人の目」です。

これから犯行に及ぼうとしている時、下見をしている時などに

顔を見られる ・ 声を掛けられる(挨拶される)

ことで、犯行をやめる犯罪者が数多くいます。

住民一人ひとりの目と声が最高の防犯活動になるのです。

全国の自主防犯団体の活動内容はこちらから
警察庁自主防犯ボランティア活動支援サイト
<http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki55/index.html>

防犯ボランティアに関するお問い合わせは
御坊市役所 防災対策課

☎ 23-5528 まで